

平成 25 年度入学試験

## 一 般 学 科 試 験

桐朋学園大学音楽学部

Ⅰ～Ⅱの各設問すべてに取り組み、それぞれの答えを解答用紙の所定の箇所に書きなさい。

### 注意事項

1. 問題用紙に落丁などある場合は、挙手をして申し出てください。
2. 退出は試験開始後 61 分経過してから可能です。ただし、終了時刻 5 分前以降の退出は、混乱を避けるために、認められません。
3. 終了時間前に退出する場合は、解答用紙の上に問題用紙を重ねて机の上に置き、挙手をして試験監督の許可を得て、静かに退出してください。

## I 次の国語課題の設問に答えなさい。

国語課題一 次の文章を読んで後の設問に答えなさい。

死なない蛸<sup>たこ</sup>

萩原朔太郎

ある水族館の水槽で、ひさしい間、飢えた蛸<sup>たこ</sup>が飼われていた。地下の薄暗い岩の影で、青ざめた玻璃<sup>はり</sup>①  
 テンジヨウの光線が、いつも悲しげに夕夕ヨつていた。だれも人々は、その薄暗い水槽を忘れていた。  
 もう久しい以前に、蛸は死んだと思われていた。ア<sup>③</sup>クサつた海水だけが、埃<sup>ほこり</sup>つぽい日ざしの中  
 で、いつも硝子窓の槽にたまっていた。イ<sup>④</sup>動物は死ななかつた。蛸は岩影にかくれていたのだ。  
 ウ<sup>⑤</sup>彼が目を覚ました時、不幸な、忘れられた槽の中で、幾日も幾日も、おそろしい飢餓<sup>けがく</sup>を忍ばね  
 ばならなかつた。どこにも餌食<sup>えさ</sup>がなく、食物が全く尽きてしまった時、彼は自分の足をもいで食った。  
 まずその一本を。それから次の一本を。「それからさいごにそれがすっかりおしまいになったとき  
 こんどわどうおうらがえしてないぞうのいちぶおくいはじめたすこしずつたのいちぶからいち  
 ぶえとじゅんじゅんにかくしてたこわかれのからだぜんたいおくいつくしてしまつたすべての  
 こるくまなくかんぜんに」

ある朝、ふと番人がそこに来た時、水槽の中は空っぽになっていた。曇つた埃つぽい硝子の中で、  
 藍色の透き通つた潮水と、なよなよした海藻とが動いていた。そしてどこの岩のシミズミにも、もは  
 や生物の姿は見えなかつた。エ<sup>⑥</sup>蛸は死ななかつた。彼が消えてしまつた後ですらも、尚且つ<sup>⑦</sup>永遠  
 に<sup>⑧</sup>そこに生きていた。古ぼけた、空っぽの、忘れられた水族館の槽の中で、永遠にある物す<sup>⑨</sup>  
 ケツボウと不満をもつた、人の目に見えない動物が生きて居た。

作者自注

生とは何ぞ。死とは何ぞ。肉体を離れて、死後にも尚存在する意識があるだろうか。私はかかる哲  
 学を知らない。ただ私が知っていることは、人間のシユウネン<sup>⑩</sup>深い意志のアイデアが、死後にも尚死に  
 たくなく、永久に生きていたいという願望から、多くの精霊（スピリット）を創造したということだ  
 ある。それらの精霊（スピリット）は、目に見えない霊の世界で、人間のように飲食し、人間のよう  
 に思想して生活している。彼等の名は、餓鬼、天人、ヨウセイ<sup>⑪</sup>等と呼ばれ、我等の身辺に近く住ん  
 で、宇宙の至る所に瀰漫<sup>びまん</sup>している。水族館の侘しい光線がさす槽の中で、不死の蛸が永遠に生きてる  
 という幻想は、必しも詩人のイマヂスチックな主観ではないだろう。

（萩原朔太郎 『猫町』 一部改編歴史的仮名遣いは現代仮名遣で表記）

## 遺伝

人家は地面にへたばつて  
 おほきな蜘蛛<sup>くも</sup>のやうに眠つてゐる。  
 さびしいまつ暗な自然の中で  
 動物は恐れにふるへ  
 なにかの夢魔<sup>ま</sup>におびやかされ  
 かなしく青ざめて吠えてゐます。

の<sup>④</sup>をあある とをあある やわあ

もろこしの葉は風に吹かれて

さわさわと闇に鳴つてゐる  
お聴き！ しづかにして  
道路の向ふで吠えてゐる  
あれは犬の遠吠えだよ。

のをあある とをあある やわあ

「犬は病んでゐるの？ お母あさん。」

「いいえ子供

犬は飢ゑてゐるのです。」

遠くの空の微光の方から

ふるへる物象のかげの方から

犬はかれらの敵<sup>5</sup>を眺めた

遺伝の 本能の ふるいふるい記憶のはてに

あはれな先祖のすがたをかんじた。

犬のころは恐れに青ざめ

夜陰の道路にながく吠える。

のをあある とをあある やわあ

「犬は病んでゐるの？ お母あさん。」

「いいえ子供

犬は飢ゑてゐるのですよ。」

(萩原朔太郎『青猫』 歴史的仮名遣いは原文のまま)

設問一 〰〰部①〰⑩のカタカナは漢字に直し、漢字はその読みを書きなさい。

設問二 空欄ア〜エには、次の a・b いずれかの接続語が入ります。ア〜エに入る接続語を a・b いずれかの記号で答えなさい。

a けれども b そして

設問三 【一】内は、本文をただ発音するままに平仮名で書かれています。この部分を、必要におうじて漢字を用い、現代仮名遣いに気を付け、句読点を打って、解答欄に書き写しなさい。

設問四 傍線部 1 「そこ」とはどこですか。本文の言葉から具体的に答えなさい。

設問五 傍線部2 「永遠に物すごいケツボウと不満」とありますが、これと同じような意味の言葉を「作者自注」から抜き出さない。

設問六 傍線部3 「創造した」とありますが、a何が b何を 「創造した」というのですか。本文の言葉で答えなさい。

a 何が  
b 何を

設問七 傍線部4 「のをあある とをあある やわあ」は何を表現していますか。詩の本文から答えなさい。

設問八 傍線部5 「敵」と同じものを示す言葉を詩の本文から抜き出さない。

国語課題二 次の①～⑩は身体の一部を用いた慣用句です。空欄に入る言葉をア～コの中から選んで記号で答えなさい。

- ①  が合う
- ②  をひそめる
- ③  で使う
- ④  が立つ
- ⑤  を揃そろえる
- ⑥  を染める
- ⑦  を巻く
- ⑧  を落とす
- ⑨  を埋める
- ⑩  が回らない

- ア 眉
- イ 肩
- ウ 頬
- エ 肌
- オ 顎あご
- カ 顔
- キ 肩
- ク 骨
- ケ 耳
- コ 舌

Ⅱ 次の各設問に答えなさい。

問 1. 次の英語を日本語になおしなさい。

1. He grew up to be a famous violinist.
2. I was looking at the fire burning brightly.
3. Always do what you are afraid to do.
4. I have known him since he was just a little child.
5. I found it difficult to be always kind to others.
6. The best way to change the world is to change yourself.
7. I was surprised to know how deep the problem is.
8. You don't have to speak so loud. I can hear you very well.
9. The important thing is never to stop questioning.
10. Is he a man who sees with his own eyes and feels with his own heart?

問 2. 次の日本語を英語になおしなさい。

1. 私は昨日、友達に手紙を書いた。
2. 私は来週、家族と鎌倉に行くつもりです。
3. 私たちは、あなたを手助けするためにここに来ました。
4. 昨日 8 時に、彼はこのステージで歌を歌っていた。
5. 彼がどうやってこの家を見つけたか、ご存知ですか？

問 3. 次の意見について、あなたの考えを 5～6 行程度の英語で書きなさい。

A difficulty is your chance to do your best.



6	1
7	2
8	3
9	4
10	5

I · 2 解答欄

--

設問八

--

設問七

b	a

設問六

--

設問五

--

設問四

Ⅱ 解答欄

専攻	
受付番号	
氏名	

得点

問1

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

問2

1

2

3

4

5

問3

-----

-----

-----

-----